

2020年11月10日13:30-18:00@あうる京北&オンライン 環境省・廃棄物資源循環学会共催
令和2年度第2回シンポジウム
「中山間地域から考える地域循環共生圏の可能性
—全国先進地及び京都におけるSDGs・資源循環分野の取り組み事例を中心に—」

ご挨拶 京都府知事 西脇隆俊
環境省環境再生・資源循環局 次長 松澤裕
廃棄物資源循環学会 会長 吉岡敏明 (東北大学)

講演 廃棄物処理分野における地域循環共生圏形成について
名倉良雄 (環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課)

先進地事例紹介

有機系廃棄物資源化と木質系バイオマス事業への道のり 太田 昇 (真庭市長) ビデオメッセージ
有元 均 (真庭市総合政策部)

京都の事例紹介

SDGs先進地・京都市における持続可能な資源・エネルギー循環に向けた取組 門川大作 (京都市長)
バイオマス利活用先進地・南丹市「森、里、街、ひとがきらめくふるさと」を目指した取組 西村良平 (南丹市長)

パネルディスカッション

コーディネーター 酒井伸一 廃棄物資源循環学会 理事 (京都大学)
パネリスト 中村一夫 京都高度技術研究所アステム (ASTEM)
中川悦光 南丹市八木バイオエコロジーセンター (湿式メタン発酵処理施設)
久保和則 森の力京都株式会社 (木質ペレットの製造販売)
片山正人 南丹市農林商工部農山村振興課
大東一仁 京都市右京区京北出張所
名倉良雄 環境省廃棄物適正処理推進課

ご案内

地域再エネを最大限導入するための体制構築に向けた令和3年度環境省予算事業について
佐藤直己 (環境省大臣官房環境計画課地域循環共生圏推進室)

閉会の挨拶 廃棄物資源循環学会 理事 浅利美鈴 (京都大学)

★資料や録画 (間藤徹先生による事前レク含む) は学会WEB (https://jsmcwm.or.jp/?page_id=20132) にて公開

後援 京都府、京都市、南丹市、京都超SDGsコンソーシアム (京大・京都市・リコー・JT・安田産業・ソフトバンク・セブン&アイホールディングス・ecommit・三洋化成工業)

協力団体からのお知らせ【全て無料&予約必要】



第4回京都超SDGsシンポジウム&博覧会「暮らしと持続可能性」

今日も明日もSDGs!



2020年11月11日~12月4日 平日17日間(土日祝はお休み)
朝 6:45~7:15 (Zoom) 夜 22:45~23:15 (YouTubeライブ, 再放送)

11月からSDGsデビュー! 朝の30分で1日分のSDGsを補給しよう!

踊ろう! マイボトルダンス

一緒に楽しく踊って眠気を吹き飛ばしましょう!



毎日チャレンジ! 今日のSDGsクイズ

全問正解、皆勤賞の方には景品をプレゼント!



参加しよう! 日替わりコーナー

視聴者の皆さんの投稿の紹介! みんなで作るコーナーです



考えよう! 1日1SDGs

ゴールのわかりやすい紹介から最近のニュースまで様々な視点から知って、考えて、議論します!

学ぼう! グリーンリカバリーのすすめ

コロナ後、より環境配慮やSDGsを促進させる企業の取り組みを紹介頂きます!



参加申込はコチラ!



<https://forms.gle/VYd9vP1CvDoXfShK9>

11月18日(水)
10-12時

サイエンスアゴラ
2020
京都超SDGsコンソ
ーシアム presents

「京都の里山(京北)
SDGs ライフ
~オンライン中継~」

お申込みは JST(科
学技術振興機構)の
ウェブサイトへ

<https://www.jst.go.jp/sis/scienc eagora/2020/planning/planning/1801.html>

2020年12月12日(土)

13:00~15:00

SDGs 問答

小学生から、
シニアまで
大好評の
この企画！

国連の持続可能な開発目標「Sustainable Development Goals (SDGs)」には、環境・社会を網羅する17のゴールが掲げられています。英語で、数も多く、とっつきにくいかもしれませんが、一つひとつ見ていくと、私たちの日々の暮らしにも根差したものであり、総体としてみると、社会や街の理解につながる事がわかります。

本企画では、様々な方をメインスピーカーとしてお招きし「持続可能性・SDGs」をテーマに、問答させていただきます。

第三回は科学技術・文化などの力で、ワクワクしながら、SDGsを実践するためのセッション。2025年大阪・関西万博では、今までとは異なるワクワクの仕掛けが満載！参加型の企画も沢山あり、早くもプロジェクトが始動します。みなさんも、その一員に！

事前に、取組概要を知るオンラインレクチャーも実施します。
12月11日(金) 17-19時



JST (国立研究開発法人科学技術振興機構) 理事
佐伯 浩治



京都市長
門川 大作



公益社団法人
2025年日本国際
博覧会協会 広報
戦略局長
堺井啓公



お申込み方法

◎Zoomにて、直接、質問に出演して頂ける方
(限定数募集 ★京大SDGsグッズプレゼント！):11月末までにメール(ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp)にて名前、ご所属、お聞きになりたい事項をお知らせください。ただし、当日の進行によっては質問できない場合があります。

◎ZoomやYoutubeにて
参加・視聴されたい方:
こちらのフォームよりお申込みください。
<https://forms.gle/hnLjzgLtwdY63xSA>



2020年12月11日(金)

17:00~19:00

第三回SDGs問答 事前レクチャー

「研究や企業、自治体のSDGs取組の先端は？」「2025万博って、つまりは何なの？本当に、万博に今から参加できるの？」

第三回SDGs問答は、科学技術・文化などの力で、ワクワクしながら、SDGsを実践するためのセッション。2025年大阪・関西万博では、今までとは異なるワクワクの仕掛けが満載！参加型の企画も沢山あり、早くもプロジェクトが始動します。12/12の問答では、各組織を代表する方々が、意義を深堀するお話しを展開します。より理解を深めるため、問答に先立って、各組織の取組の前線・現場に立つ関係者が、概要を紹介する事前レクチャーを実施します。

●話題提供予定者

- SDGs達成に向けたJSTの取組～Science for global well-being
荒川敦史 (国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 「科学と社会」推進部長)
- “未来を共創する” 2025年日本国際博覧会
今村治世 (公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 広報戦略局 戦略事業部 戦略事業課)
- SDGs・レジリエンスと多様な主体の協働
佐藤晋一 (京都市 総合企画局総合政策室 SDGs・市民協働推進部長)
- 京都大学によるSDGs・持続可能性に関する取組紹介
浅利美鈴 (京都大学地球環境学堂 准教授)
- 京都超SDGsコンソーシアムメンバー企業
(株)リコー (株)ecommit
日本たばこ産業(株) (株)セブン&アイ・ホールディングス
安田産業(株) 三洋化成工業(株)
ソフトバンク(株) 京北SDGsクラブ(仮)

◎申し込みは第三回問答と同じ申し込みサイトから可能です。【主催】京都超SDGsコンソーシアム